

医療系受験の実態

今後の展望

医療系受験

のススメ

医療系受験なら圧倒的実績を誇るミリカです。

1. 医師

・ 需要と将来性

医師は医療職の中で最も社会的需要が高く、今後も不可欠な職種です。
高齢化・医療高度化により、医師需要がなくなる可能性はほぼありません。

特に需要が高い分野:

- 地方医療(地域医療)
- 救急・集中治療
- 産婦人科・小児科
- 在宅医療
- 外科系専門分野

一方で、

- 都市部人気診療科への集中
- 医師の地域偏在
- 長時間労働問題

などの課題もあります。

AIが診断補助をしても、

👉 最終判断・治療方針決定は医師が担うため代替困難です。

👉 将来性は医療職の中で最上位クラス。

・ 給与

平均年収は 約 1,000~1,600 万円程度。

- 初期研修医: 年収 400~600 万円前後
- 勤務医: 1,000 万円前後が標準
- ベテラン勤務医: 1,500 万円以上も多い
- 開業医: 2,000 万円超も可能(科・地域による)

👉 医療資格の中では収入は最高水準。

・ポイント

- ✔ 社会的信用が非常に高い
- ✔ 高収入・安定性トップクラス
- ✔ 専門分野選択の幅が広い
- ✔ 研究・教育・行政にも道がある
- ✔ 海外でも活躍可能

一方で、

- △ 学費・教育期間が長い(6年+研修)
- △ 国家試験難易度が高い
- △ 責任・精神的負担が非常に大きい
- △ 激務になりやすい診療科も多い

👉 「使命感+学力+体力+継続力」が必要な職種。

医師は

- ✔ 学力上位層
 - ✔ 長期努力型
 - ✔ 社会貢献志向が強い
- 生徒には最適な進路です。

一方で、

- 👉 「なんとなく安定だから」志望は危険
- 👉 覚悟と適性が重要な職種でもあります。

2. 歯科医師

・需要と将来性

歯科医師は国家資格の高度専門職ですが、日本では歯科医院数が非常に多く、競争が激しい職種です(コンビニより多いと言われるほど)。

そのため、

- 都市部では歯科医師過多
- 開業しても経営が厳しいケースあり

という現実があります。

一方で、

- ✔ 予防歯科の拡大
- ✔ 審美歯科・インプラント需要
- ✔ 高齢者の訪問歯科
- ✔ 口腔ケアと全身疾患の関連重視

により、「技術力・専門性の高い歯科医師」は安定した需要があります。

👉 二極化が非常に大きい職種です。

・ 給与

勤務医の場合

- 年収: 500～800 万円程度が一般的
- 若手: 400～600 万円台が多い

開業医の場合

- 成功すれば年収 1,000～2,000 万円超も可能
- ただし経営リスク・借入リスクあり

👉 「開業成功型」は高収入だがリスクも高い。

・ ポイント

- ✔ 国家資格の中でも高収入を狙える職種
- ✔ 手先の器用さが重要
- ✔ 独立開業という選択肢がある
- ✔ 専門分野(矯正・口腔外科・審美)で差別化可能

一方で、

- ⚠ 学費が高額(私立歯学部は特に)
- ⚠ 国家試験合格率に注意
- ⚠ 経営能力が収入に直結
- ⚠ 都市部は競争激化

👉 「医療＋経営者志向」がある学生に向いています。

歯科医師は

- ✓ 家業継承予定がある
- ✓ 開業志向が強い
- ✓ 手に職+高収入志向

の生徒には強い選択肢ですが、

👉 「安定就職だけ」を求める生徒には慎重指導が必要な職種でもあります。

3. 歯科衛生士

・ 需要と将来性

日本では歯科医院の数が非常に多く、歯科衛生士は慢性的な人手不足職種です。そのため、需要は全国的に安定しています。

特に近年は、

- 予防歯科の重視
- 高齢者の口腔ケア需要増加
- 在宅歯科医療の拡大
- 全身疾患と口腔ケアの関連性重視

により、「治療補助」よりも予防・メンテナンスの専門職としての役割が大きくなっています。

👉 AI や機械に置き換わりにくい“対人専門職”です。

・ 給与

平均年収は 約 350～500 万円程度。

- 初任給: 22～26 万円前後 (他の医療職より高めスタートも多い)
- 経験者: 月給 30 万円以上も可能
- パート時給: 1,500～2,500 円程度 (地域差あり)

都市部では特に待遇改善が進んでいます。

👉 「資格職としてはコスパが良い」と言われることも多いです。

・ポイント

- ✔ 国家資格で再就職しやすい
- ✔ 結婚・出産後の復帰がしやすい
- ✔ パートでも高時給
- ✔ 夜勤がほぼない
- ✔ 全国どこでも働き口がある

一方で、

- △ 歯科医院ごとの職場環境差が大きい
- △ 人間関係の影響を受けやすい小規模職場が多い

👉 「安定＋働きやすさ重視」の学生に非常に向いています。

4. 獣医師

・需要と将来性

獣医師は国家資格の専門職で、**動物医療・公衆衛生・食品安全を支える重要職種**です。

近年は

- ✔ ペットの家族化
- ✔ 高度動物医療の普及
- ✔ 動物福祉意識の高まり

により、小動物臨床(ペット医療)の需要は安定しています。

また、

- ✔ 家畜衛生
- ✔ 食品衛生管理
- ✔ 感染症対策

を担う**公務員獣医師**は慢性的に不足気味で、将来性が高い分野です。

一方で、都市部では動物病院の数が多く、競争が激しい地域もあります。

👉 「資格があれば安泰」ではなく、分野選択が重要な職種です。

・ 給与

平均年収は 約 450～700 万円程度。

【小動物臨床(ペット病院)】

- ・初任給:20～25 万円前後
- ・中堅:400～600 万円台
- ・院長・経営者:700 万円以上も可能

【公務員獣医師】

- ・年収:500～700 万円台が安定
- ・福利厚生が強い

👉 医療系国家資格の中では中～やや高水準。

・ ポイント

- ✓ 国家資格で社会的信用が高い
- ✓ 動物好きには魅力が大きい
- ✓ 公務員ルートは安定性が高い
- ✓ 専門分野(外科・皮膚科・腫瘍科など)で差別化できる

一方で、

- △ 6 年制で学費が高額
- △ 国家試験の難易度が高い
- △ 夜間・緊急対応あり
- △ 飼い主対応の精神的負担も大きい

👉 「動物が好き」だけでなく、責任感と覚悟が必要な職種。

- ✓ 本気で動物医療に関わりたい生徒
- ✓ 生物が得意な理系生徒
- ✓ 公務員志望で安定を求める生徒

には良い選択肢ですが、

👉 「なんとなく動物好き」志望には慎重指導が必要な職種と言えます。

5. 薬剤師

・ 需要と将来性

薬剤師は国家資格職で、医療現場・地域医療に不可欠な存在です。調剤薬局・病院・ドラッグストアなど活躍の場が広く、基本的な需要は安定しています。

一方で近年は、

- 都市部での薬剤師数増加
- 調剤の自動化・DX化
- オンライン服薬指導の普及

などにより、「どこでも高待遇」という時代ではなくなっています。

しかし、

- ✓ 在宅医療
- ✓ チーム医療参加(病棟薬剤師)
- ✓ がん専門・感染制御・緩和ケア
- ✓ 地域包括ケア分野

では需要が拡大中です。

👉 「調剤だけ」より“専門性+対人力”が重要な時代。

・ 給与

平均年収は 約 500～700 万円程度。

- 初任給: 24～30 万円前後
- 中堅: 500～600 万円台中心
- 管理職・専門薬剤師: 700 万円超も可能

時給目安(関西圏)

- パート: 2,000～2,800 円程度
- ドラッグストア勤務は高時給傾向

👉 医療系資格の中では安定した収入帯。

・ポイント

- ✔ 国家資格で就職先が広い
- ✔ 女性のキャリア継続に強い
- ✔ 再就職しやすい
- ✔ 夜勤がほぼない職場も多い
- ✔ 医療安全の専門職として重要

一方で、

- △ 都市部はやや飽和気味
- △ 単調業務になりやすい職場もある
- △ 6年制で学費負担が大きい

👉 「安定志向＋医療系＋理系」の学生には堅実な選択肢。

薬剤師は

- ✔ 安定就職志向
- ✔ 女性生徒
- ✔ 地元志向

の生徒に特に相性が良いです。

一方で、

👉 高収入や大きなキャリア差を求める場合は専門性必須とも言えます。

6. 看護師

・需要と将来性

看護師は医療職の中でも最も需要が安定している職種の一つです。
高齢化の進行により、今後も需要がなくなる可能性は極めて低いです。

特に需要が高い分野：

- 急性期病院
- 在宅医療・訪問看護
- 高齢者施設
- 慢性期医療
- 美容医療分野

慢性的な人手不足が続いており、全国どこでも働き口があります。

AI や機械化が進んでも、

👉 患者対応・判断・ケアは人間中心のため代替されにくい職種です。

・ 給与

平均年収は 約 450～600 万円程度。

- 初任給:25～30 万円前後(夜勤込み)
- 中堅:500 万円台が多い
- 夜勤多め・都市部病院:600 万円超も可能

時給目安

- パート:1,600～2,500 円程度
- 夜勤専従:1 回 3～4 万円台も可能

👉 医療系資格の中では収入は高水準です。

・ ポイント

- ✓ 国家資格で圧倒的な安定性
- ✓ 再就職・転職が非常にしやすい
- ✓ 女性のキャリア継続に強い
- ✓ 専門看護師・認定看護師などでキャリアアップ可能
- ✓ 海外でも働ける可能性あり

一方で、

- △ 夜勤・シフト勤務が大変
- △ 精神的・体力的負担が大きい
- △ 離職率がやや高い職種

👉 「安定・収入・社会貢献」を重視する学生には非常に有力な選択肢。

7. 臨床検査技師

・ 需要と将来性

臨床検査技師は、**血液検査・尿検査・生理機能検査(心電図・超音波など)を担う“診断の基盤職”**です。医師の診断の多くは検査データに依存するため、医療現場で不可欠な存在です。

需要は安定していますが、

- 検査機器の自動化
- AIによる検査データ解析
- 外部検査センターへの集約

により、「人数を大幅に増やす職種」ではありません。

一方で、

- ✓ 遺伝子検査
- ✓ がん関連検査
- ✓ 不妊治療・再生医療分野
- ✓ 超音波(エコー)検査技術者

などの高度検査分野は今後も需要増が見込まれます。

👉 ルーティン検査より「専門検査ができる人材」が強い時代です。

・ 給与

平均年収は 約 400～550 万円程度。

- 初任給:20～24 万円前後
- 中堅:400 万円台が中心
- ベテラン・役職者:500 万円超も可能

時給目安

- 非常勤:1,500～2,200 円程度
- 超音波検査ができる人材:高単価になりやすい

👉 エコー技術者は給与面で優遇されやすいです。

・ポイント

- ✔ 理系(生物・化学)が得意な学生向き
- ✔ コツコツ型・正確性重視の仕事
- ✔ 患者と接する機会は比較的少なめ(検体検査中心の場合)
- ✔ 夜勤・当直がある職場もある
- ✔ 資格職で安定性は高い

👉 「医療に関わりたいが、対人メインより検査・分析に興味がある」学生に最適。

8. 放射線技師

・需要と将来性

日本は高齢化が進んでおり、画像診断(CT・MRI・PET など)の需要は年々増加しています。そのため、放射線技師の需要は医療現場で安定しています。

一方で、

- AIによる画像診断補助
- 検査の効率化
- 機器の高性能化による少人数運用

などの影響で、「人数を大量に増やす職種」ではなくなってきています。

ただし、

- ✔ がん診断の増加
- ✔ 予防医療・健診センターの拡大
- ✔ 放射線治療分野の高度化

により、高度な専門性を持つ技師の価値はむしろ上昇傾向です。

👉 単純作業型より「専門特化型」が強い職種になっています。

・給与

平均年収は 約 450～650 万円程度 が一般的です。

- 初任給:22～26 万円前後

- 中堅:500万円台が多い
- 管理職・専門資格あり:600万円超も可能

時給目安(関西圏)

- 病院非常勤:1,800~2,500円程度
- 健診センター:比較的高時給になりやすい

放射線治療やIVR(画像下治療)に関わる人材は給与評価が高くなる傾向があります。

・ポイント

- ✓ 医療職の中では理系色が強く、物理・工学に強い学生向き
- ✓ 国家資格職なので安定性は高い
- ✓ 夜勤・オンコール対応がある職場も多い
- ✓ 技術職なので「スキル＝価値」になりやすい
- ✓ 専門分野を持つと強い(治療・核医学・心カテ等)

👉 「手に職＋医療＋理系スキル」を活かしたい学生には非常に相性が良い職種です。

9. 理学療法士(PT)

・需要と将来性

高齢化社会の日本では、リハビリ需要が非常に高く、今後も一定の需要は続く職種です。特に、整形外科・脳血管障害・スポーツ分野・介護分野での需要が安定しています。

ただし近年は、

- 養成校の増加による有資格者の増加
- 都市部での供給過多傾向

も見られ、「資格を取れば安泰」という時代ではなくなっています。

一方で、

- ✓ スポーツリハ
- ✓ 訪問リハビリ
- ✓ 予防リハビリ・健康増進分野
- ✓ 自費リハビリ・パーソナル指導

などへ広げられる人材は将来性が高いです。

👉 病院勤務一本より「専門性+独自性」が鍵。

・ 給与

平均年収は 約 400～550 万円程度。

- 初任給:21～25 万円前後
- 中堅:400 万円台後半が多い
- 管理職・訪問リハ責任者:500 万円超も可能

時給目安

- 非常勤:1,700～2,500 円程度
- 訪問リハ:高単価になりやすい

👉 大きく稼ぐには管理職・独立・自費分野が現実的。

・ ポイント

- ✓ 人と関わるのが好きな学生向き
- ✓ スポーツ好きとの相性が良い
- ✓ 国家資格で安定性あり
- ✓ 体力仕事の面もある
- ✓ コミュニケーション力が重要

👉 「医療+運動+対人支援」に興味がある学生に最適。

10. 作業療法士(OT)

・ 需要と将来性

作業療法士は、身体だけでなく精神・認知機能リハビリにも関わる専門職です。

特に需要が高い分野:

- 高齢者認知症リハ
- 精神科リハビリ

- 発達障害支援
- 在宅・地域包括ケア

高齢化と精神医療ニーズの増加により、**今後も必要とされる職種**です。

理学療法士ほど人数過多になっておらず、比較的需給バランスは安定しています。

👉 「心と生活を支えるリハ専門職」として価値が高い。

・ 給与

平均年収は **約 380～520 万円程度**。

- 初任給: 20～24 万円前後
- 中堅: 400 万円台中心
- 管理職・訪問系: 500 万円前後可能

時給目安

- 非常勤: 1,600～2,300 円程度

👉 医療職の中ではやや控えめだが安定。

・ ポイント

- ✅ 心理・教育・福祉に興味がある学生向き
- ✅ 精神分野に強い医療職
- ✅ コミュニケーション力が非常に重要
- ✅ 子ども支援・発達支援にも関われる
- ✅ 「生活の質(QOL)」を支える仕事

👉 「人の人生に深く関わる仕事」をしたい人に向いています。

11. 介護士(介護福祉士)

・ 需要と将来性

介護士は、日本で最も需要が増え続けている職種の一つです。超高齢社会により、今後も人手不足が続くことがほぼ確実です。

特に需要が高い分野:

- 特別養護老人ホーム
- 有料老人ホーム
- デイサービス
- 訪問介護
- 認知症ケア施設

国としても

- ✓ 処遇改善加算
- ✓ 給与引き上げ政策
- ✓ 外国人材受け入れ拡大

を進めており、「社会的に守られている職種」とも言えます。

👉 仕事がなくなる可能性は極めて低い職種。

・ 給与

平均年収は 約 320～450 万円程度。

- 初任給: 18～22 万円前後
- 経験者・リーダー職: 400 万円前後
- 施設長クラス: 500 万円近くも可能

時給目安

- パート: 1,100～1,600 円程度
- 夜勤手当: 1 回 5,000～10,000 円程度加算

👉 以前より改善傾向だが、医療職よりは低め。

・ポイント

- ✔ 資格がなくてもスタート可能(後から国家資格取得可)
- ✔ 全国どこでも就職可能
- ✔ AI 代替が極めて難しい対人職
- ✔ 人生経験が武器になる仕事
- ✔ 高齢社会で社会的意義が非常に大きい

一方で、

- ⚠ 体力的負担が大きい
- ⚠ メンタル負担もある
- ⚠ 職場環境差が大きい
- ⚠ 給与水準は高収入職ではない

👉 「人の役に立ちたい気持ち」が強い人向き。



医療職おすすめ度ランキング (現実版)

(★5＝現実的総合力が高い)



1位: 医師

★★★★★

- ✔ 収入トップクラス
 - ✔ 需要がなくなるらない
 - ✔ AI 代替ほぼ不可
 - ✔ 社会的信用最大
 - ✔ 専門分野で差別化可能
- ⚠ 学費・勉強量・責任は最大級
 - ⚠ 長期戦覚悟

👉 学力上位層の“最強資格”。

🏆 2位: 看護師

★★★★★

- ✓ 求人数圧倒的 No.1
- ✓ 再就職最強
- ✓ 学費回収が早い
- ✓ 訪問看護など将来性◎
- ✓ 全国どこでも働ける

⚠ 激務・夜勤耐性必要

👉 現実的安定 No.1 資格。

🏆 3位: 薬剤師

★★★★☆

- ✓ 国家資格の安定性
- ✓ 夜勤少なめ
- ✓ 女性の復職に強い
- ✓ 地元就職しやすい

⚠ 都市部やや飽和

⚠ 学費 6 年分

👉 安定志向の王道。

4位: 獣医師

★★★★☆

- ✓ 国家資格で社会的信用高い
- ✓ 公務員ルートは安定
- ✓ ペット医療需要安定
- ✓ 専門医療で差別化可

- △ 学費高額
- △ 命を扱う責任重い
- △ 競争地域あり

👉 本気の動物医療志望向け。

5位: 歯科衛生士

★★★★☆

- ✓ 慢性的不足職種
- ✓ 夜勤なし
- ✓ パート高時給
- ✓ 学費回収が早い

👉 コスパ最強資格。

6位: 診療放射線技師

★★★☆☆

- ✓ 年収は医療職上位
- ✓ 専門技術職

- △ AI補助の影響あり
 - △ 求人数は多くない
-

7位: 臨床検査技師

★★★☆☆

- ✓ 医療基盤職で安定

- △ 自動化影響あり
 - △ 高収入化しにくい
-

8位:理学療法士・作業療法士

★★★☆☆

- ✓ 高齢化で一定需要
- ✓ 社会貢献度高い

- △ 養成校増加で競争
 - △ 年収上限低め
-

9位:歯科医師

★★☆☆☆

- ✓ 開業成功で高収入可能

- △ 競争激化
- △ 学費高額
- △ 二極化大

👉 安定目的なら慎重指導。

10位:介護士

★★★☆☆(※安定度は高い)

- ✓ 超高齢社会で需要爆発
- ✓ 就職困らない
- ✓ AI代替困難

- △ 収入水準は高くない
- △ 体力・精神負担大

👉 収入より社会貢献志向向け。



女子生徒に向く医療資格トップ5(現実版)

※「結婚・出産後も働ける」「収入安定」「現実性」を重視。

1位:看護師

👉 女性資格の王者

- ✓ 全国就職可
- ✓ 復職しやすい
- ✓ 高収入可能
- ✓ キャリア多様

👉 人生を守れる資格。

2位:歯科衛生士

👉 コスパ最強

- ✓ 学費安い
- ✓ 高時給パート
- ✓ 夜勤なし
- ✓ ブランク復帰◎

👉 現実志向女子の最適解。

3位:薬剤師

👉 安定型優等生資格

- ✓ 時給高い
- ✓ 体力負担少なめ
- ✓ 復職強い

👉 地元志向女子に◎。

4位: 医師

👉 ハイスペック型女子

- ✓ 高収入
- ✓ 社会的信用大
- ✓ 女性医師需要増加

⚠ 勉強・体力覚悟

5位: 獣医師

👉 動物医療志望女子

- ✓ 国家資格
- ✓ 公務員ルート安定
- ✓ 専門医療で強い

⚠ 学費・責任重い

医療系学部ガイド: 進路の全体像(主要10職種)

中高生向けに、難易度や学習内容、将来の安定性をまとめた比較表です。

学部・職種	期間	国公立 偏差値	私立 偏 差値	国家試験 合格率	就職・将来性
医学部(医師)	6年	65-75	62-72	約90%	極めて高い。AI活用が進むが、最終判断の需要は不変。
歯学部(歯科医師)	6年	55-65	40-60	約60-70%	安定。予防歯科や高齢者向け口腔ケアの需要増。
獣医学部(獣医師)	6年	60-70	55-65	約80-90%	高い。ペットの家族化、公衆衛生(検疫)で需要。
薬学部(薬剤師)	6年	55-65	40-65	約70-80%	安定。ドラッグストアから研究職まで幅広。
看護学部(看護師)	4年	50-60	45-60	約90%	圧倒的需要。在宅医療や訪問看護でさらに必要とされる。

学部・職種	期間	国公立 偏差値	私立 偏 差値	国家試験 合格率	就職・将来性
放射線技師	4年	50-60	45-55	約 80-90%	高い。がん治療や精密検査の高度化で重要性アップ。
臨床検査技師	4年	50-60	45-55	約 75-85%	安定。予防医学や遺伝子検査の分野で注目。
理学療法士 (PT)	4年	50-58	40-55	約 80-90%	高い。リハビリ需要は多いが、供給も増え競争は激化。
作業療法士 (OT)	4年	48-55	40-52	約 80-90%	高い。精神科領域や生活支援など活躍の場が広い。
歯科衛生士	3-4 年	45-52	35-48	約 95%	超・深刻な不足。就職率はほぼ 100%で求人倍率が高い。

1. 職種別 年収・安定性比較表

中高生にも馴染みがあるよう、平均的な年収(厚生労働省「賃金構造基本統計調査」参照)と、その職種の強みをまとめています。

職種	平均年収(目安)	収入の特徴・強み
医師	1,200万~1,500万円	圧倒的高水準。当直代なども含め非常に高い安定性。
歯科医師	600万~800万円	勤務医は安定。開業して成功すれば医師と同等以上の可能性。
獣医師	550万~700万円	勤務医からスタートし、開業や公務員、製薬会社など多様。
薬剤師	550万~650万円	ドラッグストア勤務は高め。残業が少なく女性も働きやすい。
看護師	480万~550万円	夜勤手当が大きく、20代からしっかり稼げる。求人数は最多。
放射線技師	500万~600万円	専門性が高く、夜勤手当等で看護師と同等以上の収入も。

職種	平均年収(目安)	収入の特徴・強み
臨床検査技師	450万～550万円	病院以外に健診センターや検査センターなど安定した職場。
理学療法士(PT)	400万～480万円	安定しているが、副業やスポーツトレーナー兼務で稼ぐ人も。
作業療法士(OT)	400万～480万円	PTと同様。精神科病院や福祉施設など、職場を選びやすい。
歯科衛生士	350万～450万円	国家資格の中では低めに見えるが、時給が高くパート復帰もしやすい。

国公立大学・医学部(前期)偏差値・得点率一覧

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
東京大学	理科三類	東京都	72.5	93%	3.9倍
京都大学	医・医	京都府	72.5	91%	2.8倍
東京科学大学※1	医・医	東京都	70.0	90%	4.0倍
大阪大学	医・医	大阪府	70.0	90%	2.5倍
千葉大学	医・医	千葉県	67.5	89%	3.3倍
名古屋大学	医・医	愛知県	67.5	89%	2.4倍
東北大学	医・医	宮城県	67.5	88%	3.1倍
横浜市立大学	医・医	神奈川県	67.5	88%	3.2倍
九州大学	医・医	福岡県	67.5	88%	2.2倍
北海道大学	医・医	北海道	65.0	88%	2.9倍
大阪公立大学	医・医	大阪府	67.5	87%	3.1倍
神戸大学	医・医	兵庫県	67.5	87%	2.7倍
筑波大学	医学群	茨城県	65.0	87%	3.6倍

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共テボーダー	倍率
広島大学	医・医	広島県	65.0	85%	4.7 倍
新潟大学	医・医	新潟県	65.0	84%	3.3 倍
熊本大学	医・医	熊本県	65.0	84%	3.8 倍
金沢大学	医薬保健	石川県	65.0	83%	2.9 倍
信州大学	医・医	長野県	65.0	84%	3.2 倍
岡山大学	医・医	岡山県	65.0	86%	2.3 倍
長崎大学	医・医	長崎県	65.0	82%	4.4 倍
岐阜大学	医・医	岐阜県	65.0	82%	3.4 倍
三重大学	医・医	三重県	65.0	82%	4.3 倍
滋賀医科大学	医・医	滋賀県	65.0	84%	3.8 倍
群馬大学	医・医	群馬県	62.5	83%	5.1 倍
徳島大学	医・医	徳島県	62.5	83%	1.6 倍
鹿児島大学	医・医	鹿児島県	62.5	82%	4.3 倍
山口大学	医・医	山口県	62.5	82%	4.4 倍
高知大学	医・医	高知県	62.5	80%	5.1 倍
弘前大学	医・医	青森県	62.5	79%	6.8 倍
島根大学	医・医	島根県	62.5	81%	5.9 倍
琉球大学	医・医	沖縄県	62.5	82%	4.3 倍

※1:旧 東京医科歯科大学 ※偏差値および共テボーダーは、河合塾・メディカルラボ等の 2025 年度予想データを参照。倍率は 2024 年度入試の実質倍率を反映しています。

私立大学・医学部 偏差値・得点率ランキング

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ポーター	倍率
慶應義塾大学	医・医	東京都	72.5	－	6.2 倍
東京慈恵会医科大学	医・医	東京都	70.0	－	8.1 倍
順天堂大学	医・医	東京都	69.0	90%	15.0 倍
日本医科大学	医・医	東京都	69.0	88%	16.5 倍
国際医療福祉大学	医・医	千葉県	68.5	87%	9.0 倍
関西医科大学	医・医	大阪府	68.5	88%	11.0 倍
大阪医科薬科大学	医・医	大阪府	68.0	87%	11.4 倍
産業医科大学	医・医	福岡県	67.5	84%	14.4 倍
自治医科大学	医・医	栃木県	68.5	－	11.6 倍
昭和大学	医・医	東京都	66.5	85%	11.7 倍
東京医科大学	医・医	東京都	66.5	86%	12.2 倍
東邦大学	医・医	東京都	66.5	84%	12.1 倍
日本大学	医・医	東京都	65.0	83%	14.4 倍
藤田医科大学	医・医	愛知県	64.5	84%	7.5 倍
近畿大学	医・医	大阪府	64.5	85%	15.6 倍
兵庫医科大学	医・医	兵庫県	64.5	82%	10.4 倍
帝京大学	医・医	東京都	64.0	86%	34.4 倍
東海大学	医・医	神奈川県	64.0	82%	18.3 倍
聖マリアンナ医科大学	医・医	神奈川県	64.0	－	36.8 倍
杏林大学	医・医	東京都	63.5	84%	10.9 倍
愛知医科大学	医・医	愛知県	63.5	83%	8.2 倍

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
北里大学	医・医	神奈川県	63.5	81%	5.1 倍
福岡大学	医・医	福岡県	63.5	82%	10.7 倍
久留米大学	医・医	福岡県	63.0	83%	10.4 倍
金沢医科大学	医・医	石川県	63.0	81%	26.5 倍
獨協医科大学	医・医	栃木県	62.5	80%	16.5 倍
埼玉医科大学	医・医	埼玉県	63.0	81%	19.4 倍
岩手医科大学	医・医	岩手県	63.0	79%	8.5 倍
川崎医科大学	医・医	岡山県	61.5	-	7.4 倍
東京女子医科大学	医・医	東京都	61.5	-	6.8 倍

※偏差値・得点率は河合塾等の2025年度予想、倍率は2024年度一般入試(前期等)の実績を参照。※慶應、慈恵などは共通テストのみの利用枠がないため「-」としています。

国公立大学・歯学部(前期)

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
東京科学大学※1	歯・歯	東京都	62.5	83%	3.5 倍
大阪大学	歯・歯	大阪府	60.0	81%	2.1 倍
九州大学	歯・歯	福岡県	57.5	77%	2.3 倍
東北大学	歯・歯	宮城県	57.5	76%	2.9 倍
広島大学	歯・歯	広島県	57.5	74%	2.5 倍
北海道大学	歯・歯	北海道	57.5	78%	3.3 倍
岡山大学	歯・歯	岡山県	57.5	75%	2.4 倍
徳島大学	歯・歯	徳島県	55.0	73%	2.4 倍

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
長崎大学	歯・歯	長崎県	55.0	73%	2.5 倍
新潟大学	歯・歯	新潟県	55.0	71%	2.5 倍
鹿児島大学	歯・歯	鹿児島県	55.0	72%	3.1 倍
九州歯科大学	歯・歯	福岡県	55.0	71%	2.8 倍

※1:旧 東京医科歯科大学。歯学系では国内最高峰。

私立大学・歯学部(一般選抜)

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
東京歯科大学	歯・歯	東京都	57.5	80%	4.8 倍
昭和大学	歯・歯	東京都	55.0	78%	5.5 倍
日本大学	歯・歯	東京都	52.5	73%	3.8 倍
大阪歯科大学	歯・歯	大阪府	50.0	74%	1.8 倍
日本歯科大学	生命歯	東京都	50.0	72%	1.8 倍
愛知学院大学	歯・歯	愛知県	47.5	68%	2.1 倍
朝日大学	歯・歯	岐阜県	45.0	65%	1.7 倍
明海大学	歯・歯	埼玉県	45.0	65%	1.9 倍
福岡歯科大学	歯・歯	福岡県	45.0	64%	1.6 倍
鶴見大学	歯・歯	神奈川県	42.5	62%	1.2 倍
神奈川歯科大学	歯・歯	神奈川県	42.5	60%	1.3 倍
北海道医療大学	歯・歯	北海道	40.0	58%	1.2 倍
岩手医科大学	歯・歯	岩手県	40.0	55%	1.5 倍
松本歯科大学	歯・歯	長野県	40.0	52%	1.2 倍

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
奥羽大学	歯・歯	福島県	37.5	50%	1.1 倍

国公立大学・獣医学部(前期)

国立大学は共通テストの得点率が合否に大きく直結します。

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
東京大学	理科二類(農・獣医)	東京都	67.5	90%	3.4 倍
北海道大学	共同獣医学課程	北海道	65.0	88%	4.0 倍
大阪公立大学	獣医学部	大阪府	62.5	81%	4.1 倍
東京農工大学	共同獣医学科	東京都	62.5	85%	4.8 倍
帯広畜産大学	共同獣医学課程	北海道	62.5	80%	3.7 倍
宮崎大学	獣医学科	宮崎県	62.5	80%	2.6 倍
岩手大学	共同獣医学科	岩手県	60.0	78%	3.7 倍
岐阜大学	共同獣医学課程	岐阜県	60.0	82%	2.9 倍
鳥取大学	共同獣医学科	鳥取県	60.0	75%	5.2 倍
山口大学	共同獣医学部	山口県	60.0	80%	5.3 倍
鹿児島大学	共同獣医学部	鹿児島県	60.0	80%	2.0 倍※

※鹿児島大学は選抜方式により倍率が大きく変動します。

私立大学・獣医学部(一般選抜)

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
日本獣医生命科学大学	獣医学科	東京都	65.0	88%	4.9 倍
日本大学	獣医学科	神奈川県	62.5	85%	10.4 倍
麻布大学	獣医学部	神奈川県	62.5	86%	8.4 倍
北里大学	獣医学部	青森県※	60.0	82%	5.4 倍

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
酪農学園大学	獣医学類	北海道	60.0	81%	5.3 倍
岡山理科大学	獣医学科	愛媛県	57.5	78%	3.5 倍

※北里大学獣医学部のキャンパスは、1年次は神奈川(相模原)、2年次以降は青森(十和田)となります。

国公立大学 薬学部(前期)

大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共通ボーダー	倍率
東京大学	理科二類(薬)	東京都	67.5	90%	3.6 倍
京都大学	薬・薬科学(※)	京都府	67.5	89%	2.5 倍
大阪大学	薬・薬	大阪府	65.0	85%	2.2 倍
千葉大学	薬・薬	千葉県	65.0	85%	3.1 倍
名古屋市立大学	薬・生命薬学	愛知県	62.5	83%	2.7 倍
九州大学	薬・創薬臨床	福岡県	62.5	83%	2.5 倍
東北大学	薬・創薬科学	宮城県	62.5	83%	2.4 倍
岡山大学	薬・薬	岡山県	62.5	82%	3.2 倍
広島大学	薬・薬	広島県	62.5	80%	2.8 倍
熊本大学	薬・薬	熊本県	60.0	79%	2.5 倍
徳島大学	薬・薬	徳島県	60.0	77%	2.1 倍
岐阜薬科大学	薬・薬	岐阜県	60.0	80%	2.6 倍
静岡県立大学	薬・薬	静岡県	57.5	78%	3.4 倍

私立大学・薬学部(一般選抜)

エリア	大学名	所在地	偏差値	倍率	備考
北海道・東北	北海道医療大学	北海道	40.0	1.1	北日本の医療総合大学
	東北医科薬科大学	宮城県	50.0	2.5	医・薬の連携が強い
	いわき明星大学	福島県	37.5	1.0	地元の医療を支える
関東	慶應義塾大学	東京都	65.0	4.3	私立薬学部の最高峰
	北里大学	東京都	60.0	3.8	伝統ある名門校
	東京薬科大学	東京都	57.5	2.5	国内最古の私立薬大
	星薬科大学	東京都	57.5	3.1	圧倒的な国家試験実績
	日本大学	千葉県	52.5	2.4	総合大学の強み
	武蔵野大学	東京都	52.5	4.5	臨床に強い
	横浜薬科大学	神奈川県	40.0	1.2	漢方など専門コース有
北陸・東海	金沢医科大学	石川県	40.0	1.1	北陸の貴重な私立薬
	愛知学院大学	愛知県	47.5	1.9	名城大と並び中部で人気
	名城大学	愛知県	55.0	3.2	中部エリアで非常に高い評価
近畿	京都薬科大学	京都府	55.0	2.4	近畿の私立薬学部御三家
	大阪医科薬科大学	大阪府	55.0	2.2	医学部併設で教育レベル高
	近畿大学	大阪府	55.0	6.8	志願者数日本一の総合力
	摂南大学	大阪府	47.5	2.1	関西の薬学の名門
	大阪大谷大学	大阪府	45.0	1.8	南大阪の医療拠点
	武庫川女子大学	兵庫県	50.0	2.4	女子大薬学部として屈指
	神戸学院大学	兵庫県	45.0	1.8	神戸エリアでの高い実績
	立命館大学	滋賀県	55.0	3.2	先端研究に強い

エリア	大学名	所在地	偏差値	倍率	備考
中国・四国	兵庫医科大学	兵庫県	50.0	2.1	病院直結の教育環境
	広島国際大学	広島県	42.5	1.5	医療・福祉の総合校
	就実大学	岡山県	45.0	1.4	中四国エリアの有力校
	松山大学	愛媛県	42.5	1.3	四国を代表する私立薬
	徳島文理大学	徳島県	40.0	1.1	香川・徳島にキャンパス
九州	福岡大学	福岡県	55.0	4.5	九州私立薬学の雄
	第一薬科大学	福岡県	37.5	1.2	九州最古の私立薬大
	崇城大学	熊本県	42.5	1.6	設備が充実した理工系大学

看護学部：国公立大学【地域別】一覧表

国公立の看護学部は、共通テストの得点率が60%～75%程度、偏差値は50～60がボリュームゾーンです。

地域	大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共テ
北海道・東北	北海道大学	医学部 保健学科 看護学	北海道札幌市	57.5	73%
	札幌医科大学	保健医療学部 看護学科	北海道札幌市	52.5	62%
	東北大学	医学部 保健学科 看護学	宮城県仙台市	57.5	74%
関東・甲信越	千葉大学	看護学部 看護学科	千葉県千葉市	57.5	72%
	東京医科歯科大学	医学部 保健衛生 看護学	東京都文京区	60.0	75%
	横浜市立大学	医学部 看護学科	神奈川県横浜市	55.0	70%
	新潟大学	医学部 保健学科 看護学	新潟県新潟市	50.0	63%

地域	大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共テ
北陸・東海	金沢大学	医薬保健学域 保健 看護学	石川県金沢市	52.5	65%
	名古屋大学	医学部 保健学科 看護学	愛知県名古屋市	60.0	76%
	名古屋市立大学	看護学部 看護学科	愛知県名古屋市	52.5	67%
近畿	京都大学	医学部 人間健康 看護学	京都府京都市	62.5	80%
	大阪公立大学	看護学部 看護学科	大阪府大阪市	55.0	72%
	神戸大学	医学部 保健学科 看護学	兵庫県神戸市	57.5	73%
中国・四国	奈良県立医科大学	看護学部 看護学科	奈良県橿原市	52.5	68%
	岡山大学	医学部 保健学科 看護学	岡山県岡山市	52.5	68%
	広島大学	医学部 保健学科 看護学	広島県広島市	55.0	70%
	徳島大学	医学部 保健学科 看護学	徳島県徳島市	50.0	63%
九州・沖縄	九州大学	医学部 保健学科 看護学	福岡県福岡市	55.0	71%
	長崎大学	医学部 保健学科 看護学	長崎県長崎市	50.0	64%
	琉球大学	医学部 保健学科 看護学	沖縄県西原町	47.5	60%

看護学部の受験科目(国公立)

- **共通テスト:** 5教科7科目が一般的ですが、公立大学や地方国立では「理科1科目」や「数学1科目」など、3~5科目に軽減される大学も多くあります。文系科目重視で受験できる枠があるのも看護学部の特徴です。
- **2次試験:** 「小論文・面接」のみの大学と、「英語・理科(生物など)」を課す大学に分かれます。

私立大学・看護学部・地域別・実力派大学一覧 《看護学部は 200 以上あるので厳選しました》

【近畿エリア】(激戦区・人気校多数)

大学名	所在地	偏差値	共テ(目安)	特徴
大阪医科薬科大学	大阪府高槻市	55.0	76%	医学部併設。関西屈指の難易度と教育質。
関西医科大学	大阪府枚方市	52.5	73%	附属病院との連携が非常に強い。
森ノ宮医療大学	大阪市住之江区	52.5	78%	西日本最大級の医療系総合大。設備が最新。
大和大学	大阪府吹田市	50.0	70%	国家試験合格率への執念が強く、実績急上昇。
同志社女子大学	京都府京田辺市	55.0	75%	京都の名門。保健師課程への選抜に強み。
甲南女子大学	兵庫県神戸市	50.0	68%	阪神間の人気校。伝統的な看護教育。
武庫川女子大学	兵庫県西宮市	52.5	72%	圧倒的な就職・キャリア支援力。
摂南大学	大阪府枚方市	47.5	65%	薬学部・看護学部の連携が密。
藍野大学	大阪府茨木市	42.5	60%	リハビリ職も揃う医療専門大学。

【関東エリア】(最難関・伝統校)

大学名	所在地	偏差値	共テ	特徴
聖路加国際大学	東京都中央区	60.0	80%	日本の看護教育のリーダー的存在。
慶應義塾大学	東京都新宿区	60.0	-	高い教養と専門性を兼ね備える。
順天堂大学	東京都文京区	57.5	78%	圧倒的な病院数と実習環境。

大学名	所在地	偏差値	共テ	特徴
日本赤十字看護大学	東京都渋谷区	55.0	75%	災害看護や国際活動に強い。
北里大学	神奈川県	55.0	72%	チーム医療の先駆け。病院直結。

【東海エリア】

大学名	所在地	偏差値	共テ	特徴
藤田医科大学	愛知県豊明市	52.5	70%	高度救急医療に強い実習環境。
愛知医科大学	愛知県長久手市	50.0	68%	医学部との共同教育が充実。
名古屋学芸大学	愛知県日進市	50.0	70%	管理栄養士なども揃う専門性。

【中四国・九州エリア】

大学名	所在地	偏差値	共テ	特徴
川崎医療福祉大学	岡山県倉敷市	47.5	65%	川崎医大グループの巨大なネットワーク。
広島国際大学	広島県東広島市	45.0	62%	医療系 10 職種以上が揃う総合大。
福岡大学	福岡県福岡市	50.0	70%	九州最大級の附属病院での実習。
産業医科大学	福岡県北九州市	52.5	74%	産業保健(働く人の健康)に特化。

診療放射線技師：国公立・私立別一覧

レントゲン、CT、MRI、がん治療の放射線照射などを行う専門職です。

【国公立大学】

地域	大学名	学部・学科	偏差値	共テ
北海道	北海道大学	医学部 保健・放射線技術	60.0	78%
東北	東北大学	医学部 保健・放射線技術	60.0	78%
関東	東京医科歯科大学	医学部 保健・検査技術(放)	60.0	76%

地域	大学名	学部・学科	偏差値	共テ
北陸	金沢大学	医薬保健学域 放射線技術	55.0	68%
東海	名古屋大学	医学部 保健・放射線技術	60.0	78%
近畿	大阪公立大学	医学部 放射線学科	57.5	73%
中国	岡山大学	医学部 保健・放射線技術	55.0	72%
九州	九州大学	医学部 保健・放射線技術	57.5	74%

【私立大学(主要・人気校)】

地域	大学名	所在地	偏差値	特徴
関東	順天堂大学	東京都	55.0	2022年開設。附属病院の最新設備。
関東	北里大学	神奈川県	52.5	チーム医療の伝統校。就職に強い。
近畿	森ノ宮医療大学	大阪府	52.5	関西の放射線学科で屈指の人気。設備が最新。
近畿	大阪行岡医療大学	大阪府	42.5	放射線技師養成の長い歴史。
近畿	京都医療科学大学	京都府	42.5	日本初の放射線技師養成所が前身。
東海	藤田医科大学	愛知県	50.0	医用放射線分野で国内最大級。
中四国	川崎医療福祉大学	岡山県	47.5	川崎医大との連携による高度な実習。
九州	純真学園大学	福岡県	45.0	福岡市内の医療総合大学。

臨床検査技師:国公立・私立別一覧

血液検査、心電図、エコー、細胞検査などを行う診断のスペシャリストです。

【国公立大学】

地域	大学名	学部・学科	偏差値	共テ
北海道	北海道大学	医学部 保健・検査技術	57.5	75%
関東	筑波大学	医学群 医療科学類	60.0	78%

地域	大学名	学部・学科	偏差値	共テ
関東	東京医科歯科大学	医学部 保健・検査技術	60.0	75%
近畿	京都大学	医学部 人間健康・検査技術	62.5	80%
近畿	神戸大学	医学部 保健・検査技術	57.5	74%
近畿	大阪公立大学	医療技術学部 検査学科	55.0	70%
九州	九州大学	医学部 保健・検査技術	57.5	73%

【私立大学(主要・人気校)】

地域	大学名	所在地	偏差値	特徴
関東	麻布大学	神奈川県	47.5	生命科学に強く、研究分野にも明るい。
関東	文京学院大学	東京都	47.5	都心の病院実習先が豊富。
近畿	森ノ宮医療大学	大阪府	52.5	看護・リハビリ・放射線との連携教育が強み。
近畿	関西医科大学	大阪府	52.5	医学部附属病院での高度な実習。
近畿	大阪医科薬科大学	大阪府	52.5	高い偏差値と医学・薬学との連携。
近畿	天理大学	奈良県	45.0	天理よろづ相談所病院との強い連携。
東海	日本福祉大学	愛知県	45.0	福祉と医療の総合的な視点。
中四国	倉敷芸術科学大学	岡山県	40.0	細胞検査士養成に力を入れている。

理学療法士(PT)・作業療法士(OT):国公立大学一覧

国公立大学は、リハビリテーション学科の中にPT専攻・OT専攻が併設されているのが一般的です。

地域	大学名	所在地	偏差値(PT/OT)	共テ
北海道	北海道大学	北海道	57.5 / 55.0	72%
関東	筑波大学	茨城県	60.0 (医療科学)	78%

地域	大学名	所在地	偏差値(PT/OT)	共テ
関東	東京都立大学	東京都	55.0 / 52.5	68%
北陸	金沢大学	石川県	52.5 / 50.0	65%
東海	名古屋大学	愛知県	60.0 / 57.5	75%
近畿	京都大学	京都府	62.5 / 60.0	78%
近畿	大阪公立大学	大阪府	55.0 / 52.5	68%
近畿	神戸大学	兵庫県	57.5 / 55.0	71%
中国	広島大学	広島県	55.0 / 52.5	68%
九州	九州大学	福岡県	55.0 / 52.5	70%

理学療法士(PT)・作業療法士(OT):私立大学地域別一覧

私立大学は設置数が多いため、各地域の「医療系総合大学」を中心にピックアップしています。

【近畿エリア】(人気集中・注目校)

大学名	所在地	偏差値 (PT/OT)	特徴
森ノ宮医療大学	大阪府	52.5 / 50.0	西日本最大級の医療総合大。スポーツリハに強い。
大阪医科薬科大学	大阪府	52.5 / -	医学部連携。高い専門性と実習環境。
関西福祉科学大学	大阪府	45.0 / 42.5	福祉とリハビリの連携。OT 教育に定評。
京都橘大学	京都府	47.5 / 45.0	救急からスポーツまで幅広い学び。
神戸学院大学	兵庫県	45.0 / 42.5	神戸の伝統校。就職実績が豊富。
大和大学	大阪府	50.0 / 47.5	国家試験対策が極めて手厚い。

【関東エリア】

大学名	所在地	偏差値 (PT/OT)	特徴
順天堂大学	東京都	55.0 / 52.5	附属病院が多く、最先端のリハビリを学べる。

大学名	所在地	偏差値 (PT/OT)	特徴
北里大学	神奈川	52.5 / 50.0	チーム医療教育の先駆者。
国際医療福祉大学	栃木/千葉	47.5 / 45.0	国内最大級の医療系大学ネットワーク。

【東海・中四国・九州】

大学名	所在地	偏差値 (PT/OT)	特徴
藤田医科大学	愛知県	50.0 / 47.5	ロボットリハビリテーションなど最先端研究。
川崎医療福祉大学	岡山県	47.5 / 45.0	医療・福祉の総合大学として中四国で高い信頼。
福岡大学	福岡県	50.0 / -	九州の総合私大として高いブランド力。

3. 受験科目と将来のアドバイス(冊子・動画用)

【受験科目の特徴】

- **国公立:** 共通テストは5教科が基本ですが、2次試験が「面接・小論文のみ」という大学も意外と多く、文系からでも狙い目です。
- **私立:** 一般入試は「英・国・数・理」から2~3科目選択。
 - 多くの大学で「数学Ⅲなし」「文系科目(国語など)での受験」が可能です。
 - 理系科目に自信がなくても、コミュニケーション能力ややる気があれば挑戦しやすい学部です。

【PTとOT、どちらがいい?】

- **理学療法士(PT)に向いている子:**
 - スポーツが好き、体を動かすのが好き。
 - 「歩けるようにしたい」「筋力をつけたい」といった、大きな動作の回復を支えたい。
- **作業療法士(OT)に向いている子:**
 - 手先が器用、工作や料理などが好き。
 - 精神的なケアや、日常生活(食事や着替え)を支える工夫に興味がある。

【今後の需要と見通し】

- **2030年のリハビリ:** AIによって事務作業が効率化され、その分「患者さんと接する時間」が増えます。
- **活躍の場:** 病院だけでなく、「訪問リハビリ(家に行く)」「スポーツジム」「老人ホーム」「児童発達支援」など、街中へ広がっています。就職率はほぼ100%の安定職種です。

歯科衛生士:国公立大学一覧

国公立の歯科衛生士課程は非常に少なく、募集定員も15～20名程度と狭き門です。

地域	大学名	学部・学科	所在地	偏差値	共テ
東京	東京科学大学 ※	歯学部 口腔保健衛生	東京都文京区	55.0	72%
近畿	大阪大学	医学部 保健・口腔保健	大阪府吹田市	57.5	70%
中国	岡山大学	歯学部 口腔保健学科	岡山県岡山市	52.5	65%
九州	九州歯科大学	歯学部 口腔保健学科	福岡県北九州市	50.0	62%
九州	徳島大学	歯学部 口腔保健学科	徳島県徳島市	50.0	60%
九州	広島大学	歯学部 口腔保健学科	広島県広島市	52.5	63%

※旧 東京医科歯科大学。

歯科衛生士:私立大学 地域別主要校リスト

私立大学は4年制が増えており、学士(大卒)の学位が得られるため、将来的に養護教諭(保健室の先生)や研究職を目指す道も開けます。

地域	大学名	所在地	偏差値	特徴
近畿	大阪歯科大学	大阪府枚方市	47.5	歯科の単科大としての圧倒的な実績。
	森ノ宮医療大学	大阪市住之江区	50.0	医療総合大の強み。多職種連携を学べる。
	神戸常盤大学	兵庫県神戸市	45.0	近畿で歴史のある歯科衛生士教育。
関東	宝塚医療大学	兵庫県宝塚市	40.0	口腔保健に加え、リハビリの視点も。
	明海大学	千葉県浦安市	45.0	附属病院が大きく実習環境が抜群。
	日本歯科大学	東京都千代田区	45.0	歯科の名門。専門性が極めて高い。

地域	大学名	所在地	偏差値	特徴
	東京歯科大学	東京都千代田区	52.5	歯学部併設で教育レベルが非常に高い。
東海	愛知学院大学	愛知県日進市	42.5	中部エリア最大の歯科養成拠点。
	朝日大学	岐阜県瑞穂市	40.0	手厚い国家試験対策と充実の附属病院。
九州	福岡歯科大学	福岡県福岡市	42.5	九州の私立歯科教育の中心地。

3. 歯科衛生士の現状と見通し(冊子用解説)

- **国家試験合格率:** 約 91~95%。学校の授業にしっかり取り組めば、ほぼ確実に合格できる資格です。
- **就職のしやすさ:** 求人倍率は約 23 倍(2026 年予測)。一人に対して 20 件以上の病院からスカウトが来るような状態で、全国どこでも、自分の希望条件(給与や勤務地)で職場を選べます。
- **今後の需要:** 高齢者の誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)を予防するための「口腔ケア」の重要性が高まっており、病院や歯科医院だけでなく、介護施設からの求人が急増しています。

医療系学部ガイド：進路の全体像（主要 10 職種）

中高生向けに、難易度や学習内容、将来の安定性をまとめた比較表です。

学部・職種	期間	国公立 偏差値	私立偏 差値	国家試験 合格率	就職・将来性
医学部(医師)	6年	65-75	62-72	約 90%	極めて高い。AI 活用が進むが、最終判断の需要は不変。
歯学部(歯科 医師)	6年	55-65	40-60	約 60-70%	安定。予防歯科や高齢者向け口腔ケアの需要増。
獣医学部(獣 医師)	6年	60-70	55-65	約 80-90%	高い。ペットの家族化、公衆衛生(検疫)で需要。
薬学部(薬剤 師)	6年	55-65	40-65	約 70-80%	安定。ドラッグストアから研究職まで幅広。
看護学部(看 護師)	4年	50-60	45-60	約 90%	圧倒的需要。在宅医療や訪問看護でさらに必要とされる。
放射線技師	4年	50-60	45-55	約 80-90%	高い。がん治療や精密検査の高度化で重要性アップ。

学部・職種	期間	国公立 偏差値	私立偏 差値	国家試験 合格率	就職・将来性
臨床検査技師	4年	50-60	45-55	約 75-85%	安定。予防医学や遺伝子検査の分野で注目。
理学療法士 (PT)	4年	50-58	40-55	約 80-90%	高い。リハビリ需要は多いが、供給も増え競争は激化。
作業療法士 (OT)	4年	48-55	40-52	約 80-90%	高い。精神科領域や生活支援など活躍の場が広い。
歯科衛生士	3-4 年	45-52	35-48	約 95%	超・深刻な不足。就職率はほぼ 100%で求人倍率が高い。